

## 財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記  
記載すべき事項はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

1. その他の有価証券 …… 時価のないものは移動平均法による原価法によっている。

2. 満期保有目的の債券 …… 償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …… 債権の貸倒による損失に備えるため、過去の貸倒れの実績を勘案し算出した額を計上している。

退職給付引当金 …… 期末退職給与の会社都合要支給額に相当する金額を計上している。  
ただし、平成28年度より中小企業退職金事業団に加入したことから平成28年3月期の残高を退職時まで計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし

4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	2,997,324	0		2,997,324
減価償却引当資産	0	0		0
小計	2,997,324	0	0	2,997,324
合計	2,997,324	0	0	2,997,324

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	うち指定正味財産から	うち一般正味財産から	うち負債に対応する
特定資産				
退職給付引当資産	2,997,324	0	0	2,997,324
小計	2,997,324	0	0	2,997,324
合計	2,997,324	0	0	2,997,324

6. 担保に供している資産

該当事項なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項なし

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当事項なし

9. 保証債務等の偶発債務

該当事項なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	BS上の 記載区分
補助金	おかやま県民文化祭 実行委員会	0	15,698,000	15,698,000	0	
助成金	岡山県	0	4,922,834	4,922,834	0	
補助金	福武教育文化振興財 団(文化連盟事業)	0	1,000,000	1,000,000	0	
補助金	福武教育文化振興財 団(天プラ事業)	0	500,000	500,000	0	
補助金	岡山労働局	0	600,000	600,000	0	
補助金	岡山カルチャーゾーン 連絡協議会	0	30,000	30,000	0	
補助金	天プラ文化振興会	0	700,000	700,000	0	
指定管理料	岡山県	0	62,910,000	62,910,000	0	
合計		0	86,360,834	86,360,834	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当事項なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項なし

14. 関連当事者との取引の内容

該当事項なし

15. 重要な後発事象

該当事項なし

16. その他

該当事項なし

**附属明細表**

1. 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表の注記に記載している

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,997,324	0			2,997,324